

経営比較分析表（令和4年度決算）

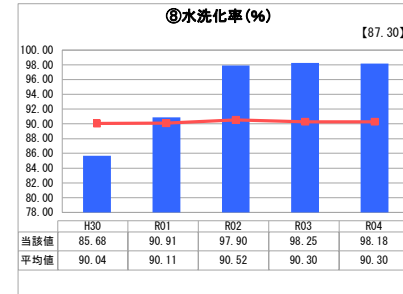
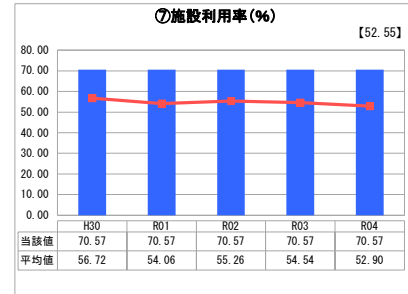
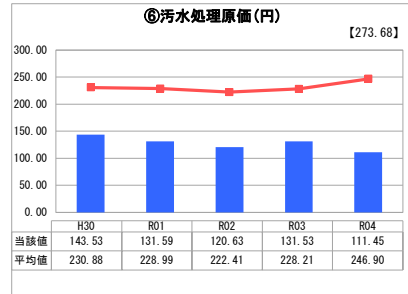
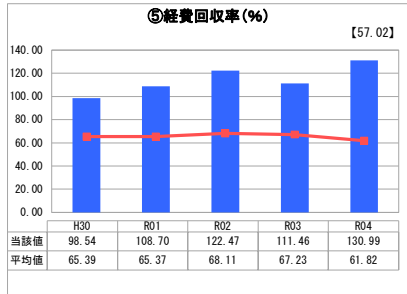
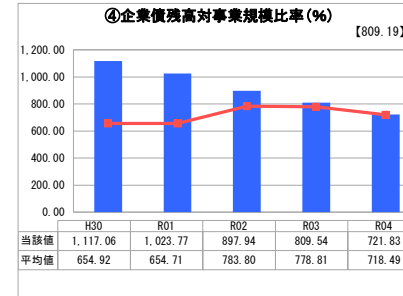
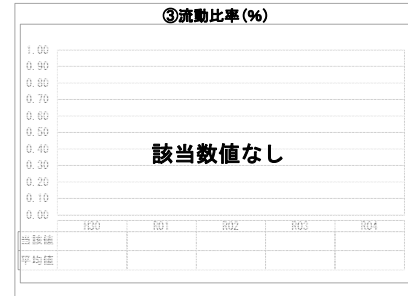
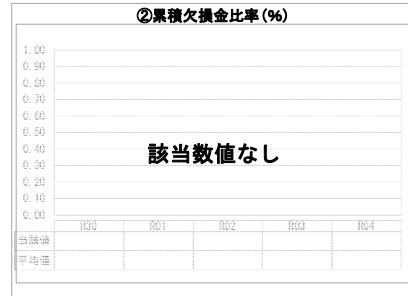
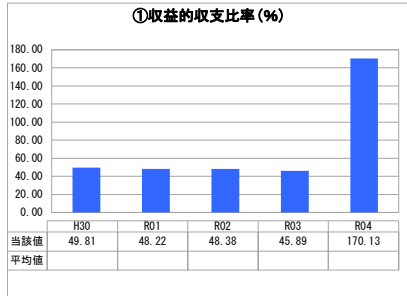
宮崎県 美郷町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	43.76	100.00	2,680

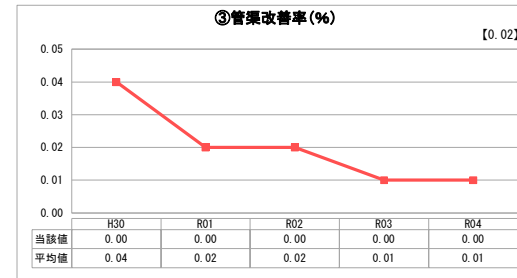
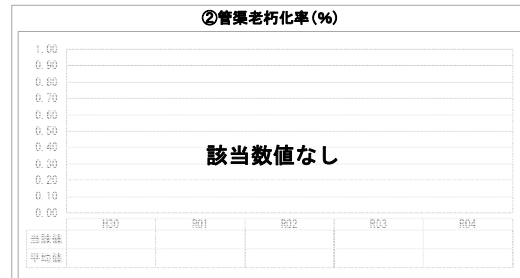
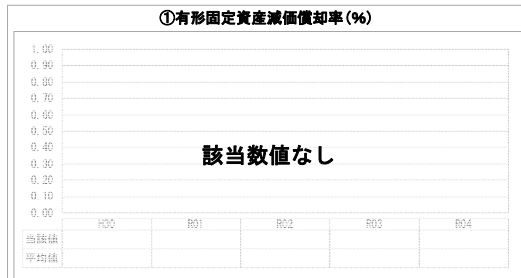
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,839	448.84	10.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,085	1.82	1,145.60

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は前年度と比較して高い数値となっているが、台風災害対応により一般会計から繰入金を繰り入れたことが大きな要因となっている。本年度の工事請負費が5年度へ繰越となっており、4年度においては大きな支出がなかったことから大幅に増加した。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して同程度の数値を示しており、減少傾向で推移している。令和4年度は台風災害を受けたことから、今後は上昇する見込みである。

⑤経費回収率は高い数値で推移しているが、人口減少や高齢者世帯の増加で減少することが予測される。引き続き維持管理費などの削減に取組んでいく必要がある。

⑥汚水処理原価は類似団体と比較して低い数値で推移しており、今後も有収水量の増加は見込めないことから、汚水処理費の削減に努めていかなければならない。

⑦施設利用率は類似団体と比較して高い数値を示しているが、今後人口の減少は確実であり、適切な施設規模を意識しながら経営していく必要がある。

⑧水洗化率は98.18%と高止まり状態である。しばらくはこの状況が続き、徐々に100%に近づいていく見込みである。

2. 老朽化の状況について

令和6年度からの公営企業会計法適用化を目指し、固定資産整理を行っている。台風災害からの復旧を急いでいるが、今後は維持管理適正化計画を策定し、これらを基に施設の適切な機能保全を行い、健全な経営を行っていく必要がある。

全体総括

人口減少や高齢者世帯の増加による収入の減少は今後避けては通れない状況であり、維持管理費の削減も難しい。まずは台風災害からの復旧を目指すことが優先であるが、維持管理適正化計画の策定を行い、今後どうやって施設を維持し、経営してべきかを検討していかなければならない。平成31年3月経営戦略策定済み。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。